

Cure and Care communication

第76号

C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



ナカムラ病院
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい
医療法人ピーアイエー



特別介護老人ホーム
陽光の家
通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所
社会福祉法人 双樹会

第52回

家族会

高齢者の食事について



そば打ち体験



三月十六日「高齢者の食事について」と題して、第五十二回家族会をナカムラ病院研修室にて開催しました。

この度は、栄養科より当法人で提供している食事内容についての説明、それから昨年より取り組んでいるゼリー食について、日清医療食品株式会社からお話をいただきました。在宅で介護をなさっている方には耳寄りな情報として、「在宅配食サービス事業」や介護食の具体的な商品説明を日清医療食品株式会社、テルモ株式会社、クリニコ株式会社よりお話ししていただきました。

ゼリー食については、昨年五月から取り入れていますが、導入に至った経緯や、工夫から提供に至るまでに約一年半を費やしていること、そして作り方等、写真を交



実際に試食もしていただきました

えながら大変分かりやすくご説明いただきました。

説明の後には、「百聞は一口にせず」で試食タイムを設け、参加いただいたご家族に、実際にゼリー食や宅配食を食していただきました。「想像していたよりも大変美味しかった」「どこに行けば買えるのか」等々非常に好評でした。

更には、この度は老人保健施設まいえで「蕎麦打ち」の実演を交えた昼食バイキングがあり、家族会終了後、見学希望のご家族に引き続き参加していただきました。手打ち蕎麦の試食では、皆さん舌鼓を打たれていたようでした。

今後も、ご家族の意向に沿える内容で家族会を企画していきたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い致します。

ナカムラ病院 医療福祉相談室

室長 小田 茂樹



今回はご家族にも体験していただきました

新入職員10名にききました

あなたの故郷&故郷自慢は？



B1病棟 看護職
加藤 ゆき

広島県:瀬戸内の海ととれる牡蠣、世界遺産の宮島。



B2病棟 保清
坂谷 智子

広島県:少し歩けば宮島の花火大会が見れる!!



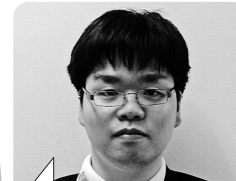
B4病棟 介護職
小川 恵子

広島県(東広島市):空気がキレイな所。そして自然がいっぱいな所。



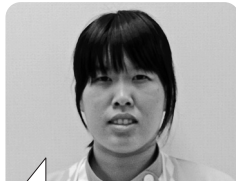
A3病棟 看護職
岩崎 恵美子

広島県(山県群戸河内町):三段峡があり自然も豊かで静かです。



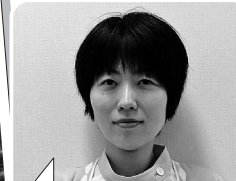
A3病棟 介護職
桑原 成亮

広島県(広島市己斐):造園や園芸といった伝統があります。



言語聴覚士
長川 加奈子

広島県:揚げもみじと生もみじがおいしい♪



歯科衛生士
好中 紀子

山口県(岩国市):錦帯橋です。今の季節はお花見にもってこいですよ!



医療福祉相談員
崎内 奈緒

広島県(県北):キレイな自然と空気とおいしいそばです。



医療福祉相談員
肥中 優実

山口県:海がとともきれいです。



事務職
上木 美鈴

広島県:美味しい食べ物がたくさんありますよ!

2013年度 新入職員研修

- 理念・基本方針
- 就業規則・給与規定・職務規定・社会保険等
- 個人情報保護について
- 施設利用者の人権・医療・福祉関連規則
- リスクマネジメントについて
- 人事制度ガイダンス
- 施設見学

- 院内広報誌について
- 自己発動研修
- 接遇研修
- 標準予防策・経路別予防策・手指衛生
- 施設内感染について
- 高齢者の栄養管理
- 認知症について
- 行動制限について

- 認知症コミュニケーション
- 歯科の役割・口腔ケア・義歯洗浄
- 骨折等外傷予防の為の基本的注意事項
- トランスファー講習
- 看護技術研修

接 遇 研 修



一月二十四日、二月七日接遇研修を行いました。例年と同じく、成和産業㈱の接遇インストラクターである平儀野さまに講師としてお越しいただきました。

研修内容については毎年、満足度調査の結果やご意見箱に寄せられた投書をもとに、先生と打ち合わせを重ね検討しています。昨年は「電話応対」「気持ちの持ち方」と題して、電話機を使用したロールプレイを行いました。

このたびは「仕事をする上での心構え」をテーマにお話しいただき、患者さまやご家族への言葉遣い・表情・態度について学びました。またグループ毎のディスカッションでは、それぞれが自らの信念や仕事のやりがいを語ることで、職員間で仕事に対する意識を共有し、初心に戻ることができました。

二日間で合計六十八名の職員が参加し「相手を尊重することの大切さが分かった」「成長するためにはどうすればよいのかを考える機会

になった」と学びの多い研修となりました。

当院では毎年接遇研修を行っており、今回で七年目になります。今後も皆さまに信頼していただけるよう、より一層接遇の向上に努めていきたいと思えます。

ナカムラ病院 医療福祉相談室

河村 康平



平成24年度 院内研修報告

研修委員会では毎年さまざまな院内研修を企画しています。ここでは昨年度行った院内研修をご報告致します。

4月	● 個人情報保護法について
5月	● 介護保険について ● 歯科関連異物の誤飲・誤嚥について
6月	● 輸液ポンプ・リスクマネジメントについて ● 誤嚥性肺炎と口腔ケアについて ● 救急蘇生について ● 高齢者介護施設における感染対策 ● 看護記録について
7月	● 舌の変化を診よう ● 標準予防策・手指衛生の重要性
8月	● 動揺歯について ● 回想法について
9月	● 高齢者に多い口腔粘膜疾患について ● 交通安全講習会 ● ゼリー食について
10月	● 薬の説明会① ● NST研修 ● ケアプランについて ● 輸血・血液管理について ● 当施設の防災体制・介護・育児休暇について ● 車イスの使い方・クッションの使い方について

11月	● 行動制限について ● 防犯講習・訓練 ● 施設利用者の人権・精神保健福祉法について ● 義歯の清掃について ● インフルエンザについて ● 褥瘡について
12月	● 日本慢性期医療学会全国大会・全国老人保健施設大会 報告会 ● 口腔乾燥について
1月	● 医療の安全に関する研修 ● 接遇研修 ● ターミナル期の口腔ケア
2月	● ノロウイルスについて ● パーソンセンタードケアについて ● 口腔ケア時の出血
3月	● 認知症について ● 腰痛予防のための介護技術研修 ● 認知機能検査について ● 口腔ケアグッズの紹介 ● 薬の説明会②

※上記以外にも「インシデント検討会」「考課者研修」「研究発表」「院外研修報告会」「症例検討会」「骨折等外傷予防のための基本的注意事項」を定期的に行っています。

陽光の家通信

【豆まき】

陽光の家では二月三日(日)に『豆まき』を行いました。職員は、手作りの衣装で鬼に扮し、園内を歩き回りました。ご利用者の方々には、「豆ではなく、ボールを鬼に向かって投げていただきました。いつもなら小さな声でお話さ



皆さんに福が来ますように!!



特別養護老人ホーム 陽光の家
相談員 佐々木 雄治

れる方が、この日は普段と違い、「鬼は外!! 福は内!!」と大きな発声とともに、鬼に向かってボールを投げていたのがとても印象的でした。
その鬼が普段優しい職員だと気がついた利用者の方々は、笑ったり、あえて強くボールを投げていました。
また、その日の昼食は巻き寿司で、季節感を味わいつつおいしそに召し上がっていました。
陽光の家では、今後も季節感を大切にし、季節ごとの行事を行い、皆さまから愛される施設づくりを目指して頑張っていきたいと思えます。

歯科の扉

～高齢者の食について～

＊ ＊ プラーク(歯垢)について ＊ ＊

歯磨きをせずにほうっておくと、歯の表面にプラークが付着してしまい、これがむし歯や歯周病の原因になります。

食べかすとプラークはどこが違うのでしょうか？ プラークは食べかすを栄養として細菌が集まったもので、ネバネバしており、歯磨きをしないと取り除けません。

例えば、流し台にある三角コーナーを水で洗った時の、水で流せる汚れが食べかす、水で流せないヌメリがプラークに相当すると思っただけのといいかもかもしれません。

ちなみに、プラーク1gの中には細菌が約100,000,000,000個(一千億個)あり、これは大便1gの中の細菌の数とほぼ同じなのです。

さあ、歯磨きしたくなりました？

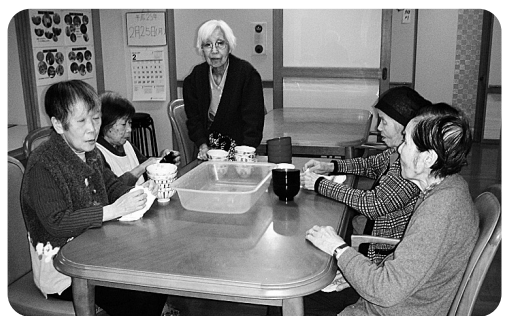


歯科医師 田地 豪

つばいこぼれ話

お手伝いの巻

私たちは、入居の皆さまに日々お変わりなく過ごしていただけたら、毎日のお仕事として、食後の食器拭きのお手伝いをお願いしております。



声がかかりません。このお仕事に『喜び』を感じていただいているようです。
食器拭きにもそれぞれこだわりと個性が表れます。今後も職員一同、皆さまの個性にあった生活を支援してまいります。

グループホーム つばい

介護職 前 純子

第13弾

快護の匠



今回は佐伯区男性介護者の集いについての紹介です。今回説明して下さる匠は、城山・五日市観音地域包括支援センターの吉田隆宏さんです。

～佐伯区男性介護者の集いについて～

毎月第二火曜日午前10時になると、退職された男性や働き盛りの男性5～10名が佐伯区地域福祉センターに集まってくれます。年齢は50代～70代と幅があります。

年齢や仕事は全く異なる男たちであるが、心はみな一つです。それは「家族を介護する」という同じ目標です。

この「佐伯区男性介護者の集い」は、平成23年11月にスタートしました。男性介護者同士が気軽に語らい相談し合える場として、佐伯区健康長寿課と区内地域包括支援センターの共催で始まりました。

この集いの場では、みな正直になれる。相談できる。本音を話せる。誰からも批判されないという雰囲気があります。

男性介護者の集いでの一コマです。カレーを調理するとします。カレー粉の箱の裏の記載通りに準備をします。野菜の数、お肉の量、水のグラム数、そして煮込む時間まで、すべて規格どおりにされていきます。女性との違いは、「適当」ができません。しかし、集いに参加されている男性介護者らは、「そうそう」と賛同します。それでいいのです。だれも指摘や批評しません。なぜならみな、同じようにされているからです。同じ仲間なのです。真剣な中にも、頼もしい姿が見えてきます。

こんなにも家族を、母を慕う息子、妻を思う夫の思いが口からこぼれおちてくる。そして語られた言葉の一言一言に耳を傾け、静かにうなずく男性たちがいる。そんなうなずきに、「一人じゃないんだ。」と同じ仲間がいるということを実感していただくのが、この「男性介護者の集い」です。

2010年の国勢調査で驚きの結果が出たと言われています。それは世帯の実態が10年前(2000年)と比較した時に、なんと単独世帯(一人暮らし)が核家族世帯と逆転したということです。さらに介護の世帯で見ていくと「二人暮らし世帯の半分が介護をしている」という実態です。特に男性介護者の増加は顕著になっています。



「仕事一筋」で働かれた夫が退職後妻を介護する、あるいは働き盛りの息子が、仕事と介護の両立をしなければならないという時代に入ってきたということです。男性が家族を介護する時に、自分の周囲に相談できる相手を見出すまで時間がかかります。なぜなら今まで介護を担って来られたのは女性が多かったからです。

これからは、男性も介護する時代になりました。もし、関心のある方や近所で介護されている男性を見かけられたら、勧めていただければ幸いです。

お問い合わせ：佐伯区厚生部健康長寿課・佐伯区内地域包括支援センターまで

100歳を祝う！ 誕生日会 in まいえ1

まいえ1では、3月16日土曜日、3月のお誕生日会が催されました。加えて、今月はめでたく、お2人の利用者さまが100歳の誕生日を迎えられるということで、少し趣向を変えた催し「ケーキカット」も行われました。30人分ほどある大きなケーキが2つ作られ、ご家族やまいえ職員と一緒に、ケーキカットをしていただきました。みんなで歌ったり、お祝いの言葉やお礼の言葉をかけ合ったりと楽しい時間が流れました。職員にとっても嬉しく、励みになるもので、またやりたいものです。



感謝！
感謝！



イチゴが
可愛いね。
ありがとう。

俳句・短歌 募集のお知らせ

平成十三年から、俳句・短歌などを収載した「あゆみ」を発行しており、各病棟に掲示しています。投句は、当院入院中の患者さま、デイケアにぎやご利用者さま、まいえ入所者さま、陽光の家人所者さま、さらにはご家族、職員…と幅広く募集しています。ご家族が投句される場合は、当院に設置してあるご意見箱に入れて、投句していただくようになります。

ここで、過去に投句された俳句をご紹介します。

春日和窓辺は暑し夏のよう

日常の一場面から、ふと思ひ浮かんだ句を紙に書いて頂き、名前(俳号、ペンネーム、匿名等も可能)とともにご意見箱に入れてください。感想などもお待ちしています。締め切りは奇数月の月末で、発行は偶数月の初旬を予定しております。今後ともあゆみをよろしく願います。

リハビリテーション科

作業療法士 松尾 美穂

スタッフ インタビュー

毎回シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回はグループホームつばいの川部明美ホーム長です。

Q. 福祉の仕事に就かれたきっかけを教えてください。

A. 何の予備知識もなく飛び込みました。とまどうことの多い毎日でしたが、資格も取得できこの仕事に就いて良かったと思います。

Q. 仕事にやりがいを感じるのはどのような時ですか？

A. 利用者の方や、ご家族のみなさまの笑顔がなによりです。

Q. リフレッシュ方法を教えてください。

A. 好きな本を読んだり、編み物をしたり、テパパートめぐりで気分転換しています。

Q. 今一番楽しみなことは？

A. 車の運転が好きなので、ドライブが楽しみです。

Q. 今後挑戦してみたいことはありますか？

A. 音痴をなおして、デュエットできるようになりたいです。

★ おりがいになりましたー！

いきいき行事ダイジェスト

1月

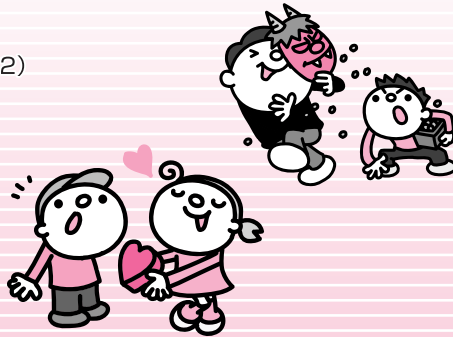
- 新年会&絵馬奉納(まいえ1)
- 初詣(にぎや家、つばい)
- 新春すごろく大会&おしるこ(A3)
- 新春カルタ大会(B5、B6)
- 運営推進会議(つばい)
- 明けましておめでとう☆ゲーム大会(B7)
- 新春お茶会(にぎや家)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 『新春マジックショー』と誕生日会(まいえ2)
- 互例会(陽光の家)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 音楽クラブ(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)

2月

- 節分(B7、まいえ1、つばい)
- あま〜いあま〜いバレンタイン(B5)
- バレンタインデー(つばい)
- 昼食バイキング(まいえ1、まいえ2)
- お楽しみ会(まいえ2)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)

3月

- ひなまつり&誕生日会(つばい)
- 三次人形見学(つばい)
- ひなまつり&フルーツバイキング(まいえ1)
- ひな祭り寿司作り(にぎや家)
- ひなまつり(A3、B5、B6、B7)
- 運営推進会議(つばい)
- カラオケ喫茶(まいえ2)
- 誕生日会【100歳を祝う】&ケーキバイキング(まいえ1)
- 昼食バイキング【そば打ち】(まいえ2)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)
- 喫茶ボランティア・ひまわり慰問(陽光の家)
- 大正琴慰問(陽光の家)



▲鬼が来たぞ〜!

二月十四日に、「節分とバレンタイン」と題し、患者さまに季節を感じていただく事を趣旨として、行事を行いました。始めに、「北国の春」体操をして身体を温め、鬼退治を行いました。鬼に扮した職員が現れると本当に怖がる患者さまもいらっしゃいましたが、お手玉を投げたり、金棒で鬼のお尻を叩いたり、鬼のかつらを被ったりと、賑やかで時間を忘れて楽しめました。今年も無病息災で過ごせるようにとお祈りをしました。

いきいき 行事だより

次に、バレンタインということ、女性の患者さま数名に可愛く装っていただき、赤い糸を選んで、その先にいる男性職員に患者さま手作りのバレンタインカードを渡していただきました。行事後、チョコプレートババロアを提供すると、「とても美味しいよ」と好評で、患者さまの笑顔を見ることができました。

B5病棟の患者さまは、レクリエーションをとっても楽しみにしておられます。これからも患者さまが笑顔になれる行事を企画していきたいと思えます。

ナカムラ病院 B5病棟
看護職 田坂 夏子



▲チョコレートババロア好評でした!

物忘れ外来

行っていきます

当院では、毎週月曜日から金曜日まで外来診療を行っております。病気によっては回復したり、適切な対応や服薬により症状の進行を遅らせることが出来、今まで通り在宅サービスなどを上手に利用しながら自宅での生活を続けていくことも可能です。そのためにも早期発見・早期治療が重要ですよ。

そこで認知症の始まりではないかと思われる言動をいくつか挙げてみましたので、暮らしの中の目安として参考にしてください。

物忘れ外来

予約制

- 診療受付時間(窓口)
毎週月～金曜日 9:00～11:30
- 予約電話番号
(082) 923-8333
- 受付時間 (平日) 8:30～18:30
(休日) 8:30～17:00

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- 最近の大きな出来事(冠婚葬祭など)を忘れる
- 財布・通帳・衣類など盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 料理で鍋をたびたび焦がすことがある
- 新しいことが覚えられない
- 話しのつじつまが合わなかったりする
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 以前よりひどく疑い深くなった

不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 見えないものを見えたりと言ったりする

意欲がなくなる

- 下着を替えなかったり、身なりに気をつかわなくなった
- 自分からは外出しない、買物に出かけない
- ふさぎ込んで何をしても億劫がり、いやがる



平成25年 **5月 ▶ 7月**

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	5月上旬 ▶ 7月下旬 懐かしきふるさとの原風景展
第二展示コーナー	4月下旬 ▶ 5月下旬 五日市高校 美術・書道展
	6月上旬 ▶ 7月下旬 じゅげむ・じゅげむ (落語の『寿限無』をテーマにした園児たちの作品展)

ギャラリーで作品展をしてみませんか

病院内の美術ギャラリーで患者さまや地域の皆さまに喜んでいただける美術作品展の事業をすすめております。

「自分の描いた作品や写真などを患者さまのために…」と思われる方は美術ボランティア作家として、この企画に参加ください。

● ギャラリー使用料	無料
● 作品展示・撤去	原則使用者負担
● テレビなどへの案内・チラシ制作費	当方負担

ギャラリー顧問 **赤木 博典**

詳細は ▶▶▶ TEL **082-923-8333** (担当:中田)

祝! 合格

働きながら勉強し、見事に資格を取った職員の方々です。
おめでとうございます。

【看護師】秋元 雅宜 影戸 照美

【准看護師】神田 千穂 高木 綾 高島 明子 高原 裕希
戸川 達成 花岡賢治郎 三浦 容子

【介護支援専門員】石田優一郎 嘉屋 陽路 黒澤 和彦 網本 忠文
広本 照代

【介護福祉士】大木 茂子 米田久佐子

編集後記

今年には桜が満開になる時期が例年よりも早く三月末頃が見ごろのところが多かったような気がします。

新年度になり、満開の桜と共に十名の新入職員を迎えました。当日は、天候にも恵まれ何年かぶりに桜の下で集合写真を撮ることが出来ました。撮影の様子を見ながら、入職した当時のことを思い出し気持ち新たに頑張ろうと思えました。

これから多くの方に楽しんで見応えのある広報誌作りに取り組みしていきますので、よろしくお願ひします。